

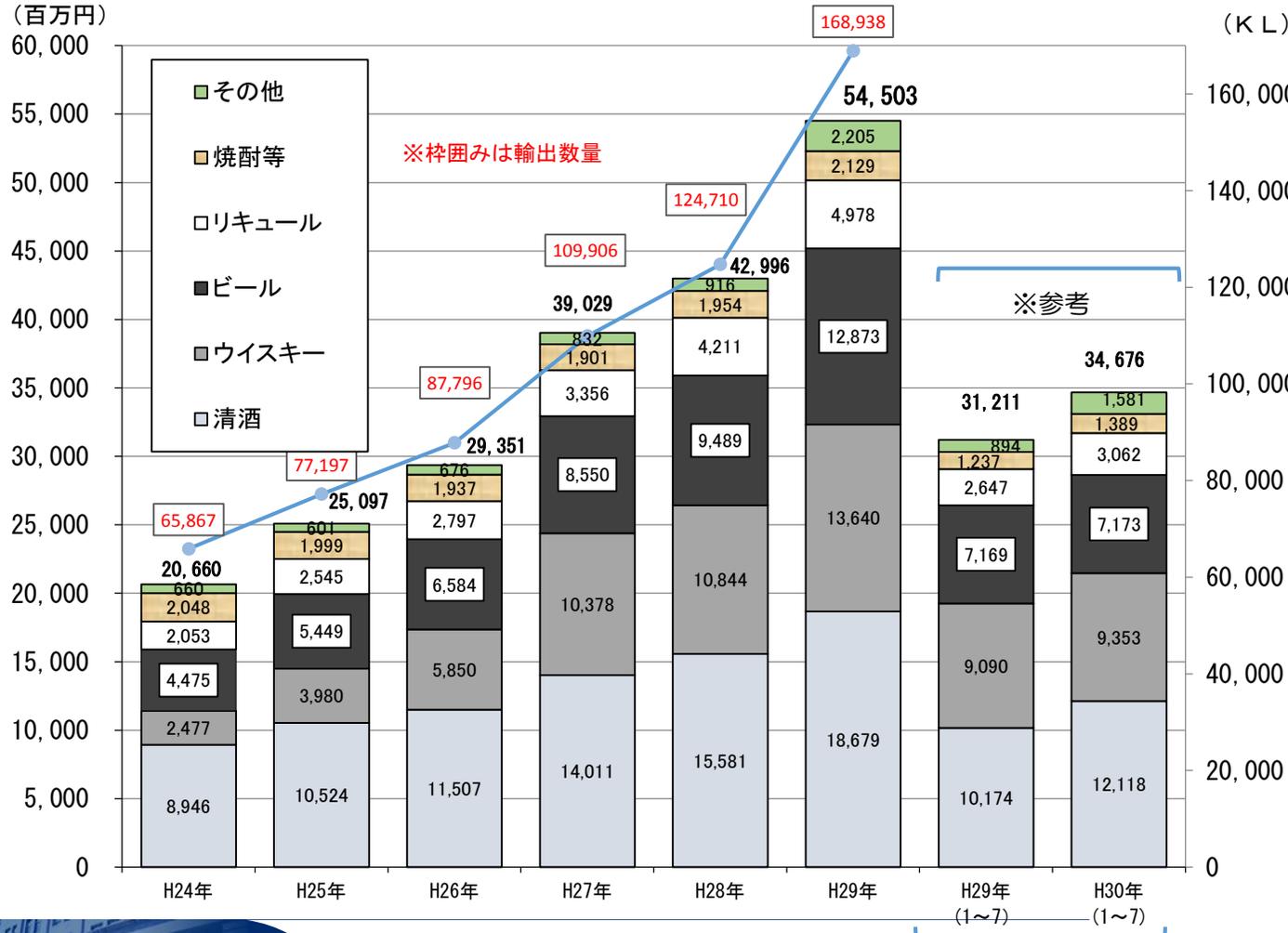
# 最近の日本産酒類の輸出動向について

資料4-8



Japan.  
"Kampai" to the world.  
Sake & Shochu

- 平成29年の輸出金額は約545億円(対前年比126.8%)となり、6年連続で過去最高を記録。
- 平成30年7月までの輸出金額(速報値)は約347億円(対前年同期比111.1%)となり、順調に推移している。



(KL)

○輸出金額額上位10か国 (単位:百万円)

国名	H29	対前年比
アメリカ合衆国	12,015	117.7%
大韓民国	10,757	142.3%
台湾	5,308	114.5%
香港	4,795	111.7%
中華人民共和国	4,379	162.6%
フランス	3,226	123.2%
シンガポール	2,768	100.8%
オランダ	2,348	157.2%
オーストラリア	1,899	131.8%
英国	1,601	277.8%

○輸出数量上位10か国 (単位:KL)

国名	H29	対前年比
大韓民国	93,102	154.2%
台湾	23,444	115.0%
アメリカ合衆国	13,740	109.0%
オーストラリア	7,151	135.6%
中華人民共和国	6,569	151.3%
香港	5,641	104.6%
シンガポール	4,588	110.2%
フランス	2,132	129.9%
ロシア	1,803	120.1%
カナダ	1,711	124.2%

出典:財務省貿易統計

# 最近の清酒の輸出動向について



- 平成29年の清酒の輸出金額は約187億円(対前年比119.9%)、輸出数量は約23,482kl(一升瓶換算で約1,300万本、対前年比119.0%)となり、共に8年連続で過去最高を記録。
- 平成30年7月までの輸出金額(速報値)は約121億円(対前年同期比119.1%)となり、順調に推移している。



OH29上位10カ国(地域)輸出金額 (単位: 百万円)

国名	H29	対前年比
アメリカ合衆国	6,039	116.2%
香港	2,799	106.4%
中華人民共和国	2,660	183.5%
大韓民国	1,864	119.3%
台湾	948	101.9%
シンガポール	691	115.1%
カナダ	486	127.6%
オーストラリア	396	109.4%
英国	348	107.7%
ベトナム	267	93.1%

OH29上位10カ国(地域)輸出数量 (単位: KL)

国名	H29	対前年比
アメリカ合衆国	5,780	113.2%
大韓民国	4,798	129.8%
中華人民共和国	3,341	174.9%
台湾	1,985	94.7%
香港	1,807	96.3%
カナダ	711	123.3%
シンガポール	530	104.1%
タイ	472	102.4%
オーストラリア	444	108.6%
英国	388	122.5%

出典: 財務省貿易統計

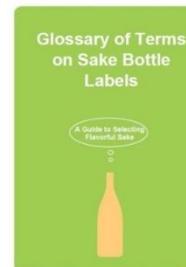
## 1. 国内外における情報発信強化

- リオオリンピックや伊勢志摩サミット、ジャポニスム2018等の機会に合わせ、日本産酒類PRブースを出展するなど、各国要人やプレスが集まる機会を活用し、日本産酒類の情報発信を実施
- 海外に日本酒の魅力をPRするためのリーフレットや、外国語による清酒のラベル表示の用語を解説した「日本酒のラベル用語事典」を作成【酒類総合研究所】
- 国際空港免税エリアでの國酒キャンペーンの実施【日本酒造組合中央会】

### (今後の取組等)

- ・G20サミット等の機会を活用した日本産酒類のPRや情報発信を実施 等

ラベル用語事典



リオオリンピックにおける日本産酒類PRの模様



## 2. 発信力のある者に向けた啓発

- 影響力を持つ国外の酒類専門家を招聘し、酒類製造所の視察や酒類総合研究所によるレクチャー等の実施
- 駐日外交官酒蔵ツアーの企画・実施【日本酒造組合中央会と共催】
- 外国人等を対象とした専門家による日本産酒類のレクチャー等の実施【酒類総合研究所等】

### (今後の取組等)

- ・引き続き、影響力を持つ国外の酒類専門家等への啓発を強化 等

駐日外交官酒蔵ツアーの模様



## 3. 輸出環境整備

- 日EU・EPA交渉による関税即時撤廃、日本ワインの輸入規制の撤廃、地理的表示(GI)の相互保護及び単式蒸留焼酎の容器容量規制緩和等の実現
- ブランド価値向上に有効な表示ルール(GI「日本酒」等)の活用促進を図るためのシンポジウムなどの開催
- 日本食・文化をテーマとする展示会「WABI(和美)」(ロンドン)、酒類見本市である「PROWEIN」(ドイツ)・「Imbibe Live」(ロンドン)への出展を支援し、ビジネスマッチングの機会を提供
- 訪日外国人旅行者に対し、「酒蔵ツーリズムにおける酒税免税制度」を実施
- 東日本大震災後に導入された輸入規制の解除

### (今後の取組等)

- ・外国とのEPA交渉等を通じた、日本産酒類の関税や輸入規制の撤廃要求、GI相互保護の働きかけ
- ・意欲ある事業者に対する、展示会や商談会等への出展支援によるビジネスマッチング機会の提供 等

海外の見本市の模様





「経済財政運営と改革の基本方針2018」(骨太の方針)及び「未来投資戦略2018」(成長戦略)(平成30年6月15日閣議決定)等を踏まえ、日本産酒類の競争力強化や海外展開を推進するため、国税庁として以下の施策に係る平成31年度予算約2.6億円(前年度約1.7億円)を要求

## 日本産酒類の情報発信に係る経費 (約1.5億円) (前年度約0.6億円)

- 国際的なイベント等の各国要人、プレスやバイヤー等が集まる機会に日本産酒類PRブースを出展
- 大きな影響力や発信力を持つ海外の酒類専門家を招聘し、日本産酒類に関する専門的知識や発信力の向上を図る観点から、酒類製造場の視察や酒類総合研究所によるレクチャー等を実施
- 海外の消費者に対して、関係機関等と連携し、日本産酒類の認知度を上げるためのプロモーションを実施

## 輸出環境整備に係る経費 (約1.0億円) (前年度約0.9億円)

- 日本産酒類のブランド価値向上のため、酒類の地理的表示(GI)制度や日本ワインの表示制度等の認知度を向上させるためのシンポジウム等を実施
- 海外における大規模展示会への出展支援等、酒類製造者にビジネスマッチングの機会を提供

## 技術支援等に関する経費 (約0.2億円) (前年度約0.2億円)

- 日本ワインや地ビールの製造者に対する製造技術面からの支援として、専門家による評価やレクチャーを実施
- 酒類総合研究所・地方自治体・大学・民間で得られたワインに関する技術情報の酒造現場における活用促進のため、酒類総合研究所にコーディネータを設置